

# 雨よけハウレンソウの連続移植栽培

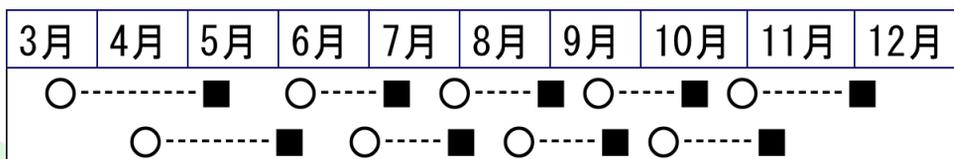


## 研究の背景

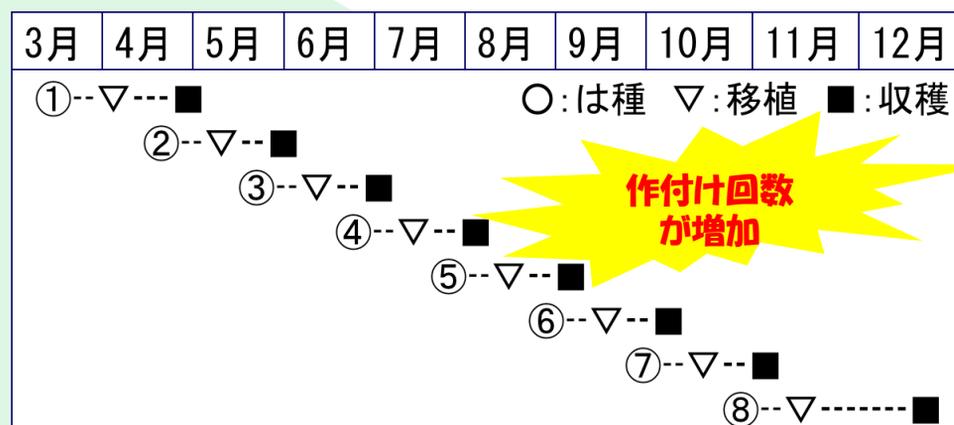
- 飛騨地域を中心とする夏どりホウレンソウ栽培においては、直播きによる連作技術が概ね完成している。
- 更なる生産性向上のためには、年間作付け回数(圃場回転数)を増加させる必要がある。
- 在圃期間が短縮できる「移植栽培」を検討。

## 研究の内容とこれまでの成果

**現状 直播栽培 1年間に4~5回作付け**



**成果 簡易移植栽培 1年間に8回作付け**



### 【今後の課題】

- 育苗コストの低減
- 経営規模に対応した、全自動移植機の開発



簡易移植器による移植作業

### 【育苗方法】

チェーンポットに市販の育苗培土を充填。発芽率の良い種子(ネーキッド種子等)を播種する。

育苗日数: 約2週間

### 【移植方法】

チェーンポット専用簡易移植器「ひっぱりくん」で移植する。

在圃日数: 約20日



左:移植栽培 右:直播栽培

岐阜県中山間農業研究所